

2025 | 11 / 08 (土)

時 | 13:30-17:00

場 | 鹿児島大学郡元キャンパス法文学部 2 号館
ラーニングcommons 1

場

場

場

一人で考え行うことを

複数人で考え行うことを

行き来させるために

づくり

登壇者

13:30-14:30

竹添星児 × はが美智子

イラストレーター

アート・メディエーター

14:35-15:45

諏訪田寛人 × 今関裕太

古本屋ブックスパーチ店主

江戸川大学専任講師

16:00-17:00

全員でディスカッション

一般公開

参加
無料

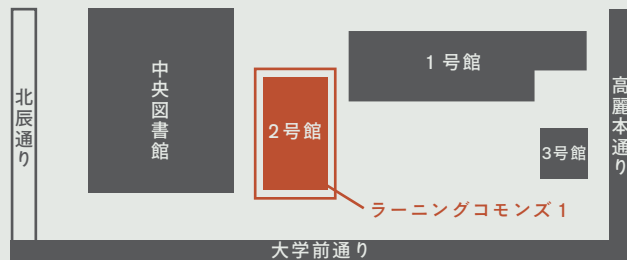
聴講はお申込み不要です。

懇親会への参加は下記 2 次元バーコード
より申し込みをお願いします。



締切 10/26 15 時

ラーニングcommons 1 は直接外から入室しても可能ですが、分かりにくい場合は
1 号館を目指してお越しいただき、館内の案内図を参考にしてください。



連絡先: 太田純貴 yota@leh.kagoshima-u.ac.jp



竹添星児

1981年鹿児島県始良市出身。鹿児島県さつま町在住。広島大学工学研究課修了後、エンジニア、NPOスタッフを経てフリーランスのイラストレーターに。雑誌・企業誌・広告・web・商品パッケージ・ポスター等、幅広い分野の制作に携わり、イベント出展・展示なども定期的を実施。掲載媒体と鑑賞者の心地よい接点となれるよう心がけ、主にざっくりとしたやわらかいテイストで描いています。2016年より5年間、鹿児島の離島・徳之島で生活。趣味はサイクリング・夕日鑑賞。

はが美智子

アート・メディエーター。2011年京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程修了。『美術手帖』第16回芸術評論募集にて『二人の耕平』における愛が佳作入選。主な企画・コーディネーションとして「國府理「水中エンジン」再制作プロジェクト」(2017～)、菅かおる個展「光と海」(長性院、Gallery PARC、2019)など。共著に『危機の時代を生き延びるアートプロジェクト』(千十一編集室発行、2021年)。京都市立芸術大学芸術資源研究センター非常勤研究員。浄土複合ライティング・スクール講師。



諏訪田寛人

鹿児島県生まれ。2016年から不定期で読書会「ブックスパーチ」を始めました。2018年に「古本屋ブックスパーチ」を開業して、古本屋の仕事のかたわら読書会を不定期に行なっていましたが、2023年からは読書会の名前を「かごぞく」にして月に1～2度の頻度で開催しています。買う・売る・読むを通して、本の世界の奥深さと面白さを味わう日々です。最近はディストピア系と陰謀論を題材にした作品にハマっています。

今関裕太

東京都生まれ。2025年東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。江戸川大学専任講師。専門は20世紀のアイルランド文学とメディア論。共著に『詳解 ラカン「サントーム」——ジョイス・結び目・精神病』(福村出版、2025年)、『メディア論の冒険者たち』(東京大学出版会、2023年)、*Flann O'Brien and the Nonhuman: Environments, Animals, Machines*(Cork UP, 2024)。2020年よりメディア研究の学術誌『メディウム』を共同編集(現在は第5巻まで刊行)。



私たちが話をしたり食事をしたりするためには、集まらなければなりません。

リアルでもオンラインでも何かを一緒に行うためには、時間と空間を共有する必要があります。

それらの共有のかたちや種類はさまざまですが、ひとまずそうした共有のかたちや種類を「場」とまとめて呼ぶことにしたいと思います。場があることで私たちは何かを共有することが可能になる、こうしたことは当たり前すぎて見過ごされがちかもしれません。

そこで今回は「場づくり」ということに関わってこられた方々をお呼びしたトークイベントを、二部仕立てで開催します。第一部は、竹添星児さん × はが美智子さんの組み合わせ、第二部は諏訪田寛人さん × 今関裕太さんの組み合わせです。イラストやアート、古書店や読書会などに関わってこられた方々から、どのようなお話が飛び出してくるのでしょうか。ぜひ直接ご参加いただき、体験していただければと思います。

入場無料で入退室自由です。最後には、参加者全員が参加できるディスカッションの時間もあります。高校生・大学生、一般のみなさん、大歓迎です。どうぞお越しください。